

安定的な国民健康保険の運営のために

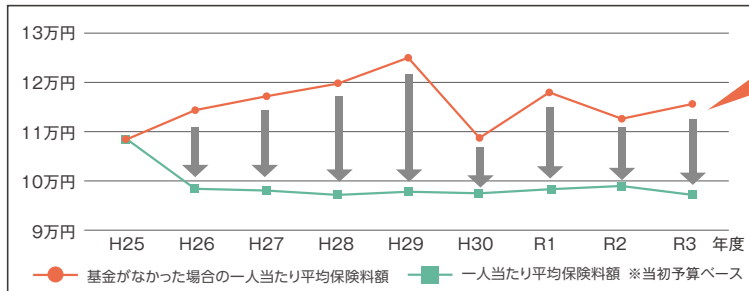
高齢化の進展や医療の高度化などによる国民健康保険の医療費の増加は、本市だけでなく全国的な課題となっています。今一度、国民健康保険について、考えてみましょう。

保険料率の見直し

本市の国民健康保険は、平成26年度に保険料率を引き下げて以来、四日市市国民健康保険支払準備基金*を活用して保険料率を引き上げずに抑えてきました。しかし、基金の残高が減少する中、安定的に国民健康保険を運営するために、保険料率の見直しが必要となりました。

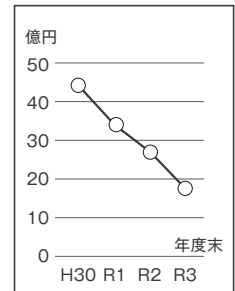
*市が国民健康保険の安定的な運営を図るために積み立てた資金

一人当たり平均保険料額の比較



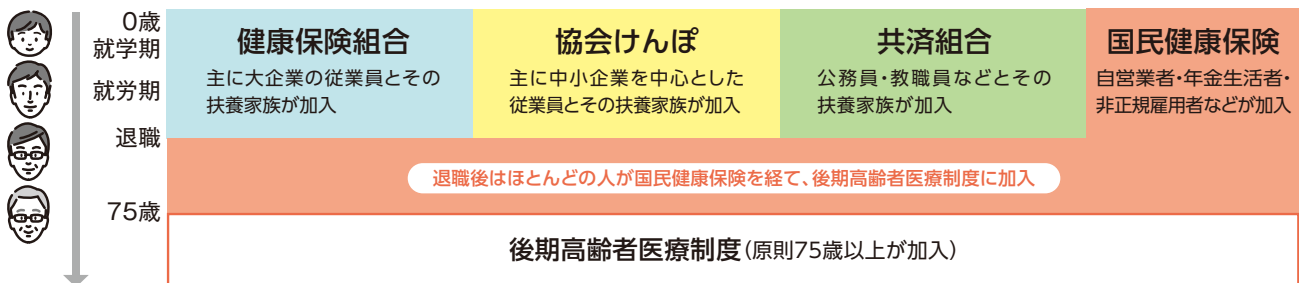
これまでは基金を取り崩して保険料を安く抑えていたため、四日市市国民健康保険の一人当たりの平均保険料額は、県内市町の平均を下回っていました。

基金残高の推移



公的医療保険の仕組み

人は誰でも病気になったり、けがをしたりすることがあります。このようなときに安心して医療が受けられるよう、加入者が普段から保険料を出し合ってお互いに助け合う制度が公的医療保険です。国民健康保険は、日本の国民皆保険制度を支える根幹となっています。就労期に加入していた保険の種類にかかわらず、退職後はほとんどの人が国民健康保険に加入します。



将来の保険料を抑えるためにできること

✓生活習慣病を予防しましょう

医療費はガン、糖尿病、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病の治療費が多くを占めています。バランスの取れた食事、適度な運動、禁煙など日頃から健康の保持増進に努め、医療費の増加を抑えましょう。

✓上手に医療機関にかかりましょう

かかりつけ医を持ち、気になることは相談しましょう。同じ病気で複数の医療機関を受診すると体に負担がかかることがあり、医療費も増加します。重複受診を控えましょう。

✓保険料の支払いには口座振替を利用しましょう

皆さんの保険料が国民健康保険を支えています。忘れずに保険料を納めましょう。



国民健康保険は、加入者の皆さんがいつでも安心して医療にかかるための大切な仕組みです。安定的な運営のために**保険料率改定**にご理解をお願いします。

※保険料率改定の詳細は、広報よっかいち6月下旬号でお知らせします